朝鮮社会科学者協会

通 報



1

2014

「朝鮮社会科学者協会通報」を発行しながら

今日、自主が激しい時代的流れとなり、世界的にチュチェ思想、先軍思想に対する関心が日増しに高まっている。多くの国の政界、社会界、学界の人士とチュチェ思想研究者がチュチェ思想、先軍思想に対する研究と普及を深化させ、それを自国の現実に具現するために尽力している。

朝鮮社会科学者協会はチュチェ思想、先軍思想に対する理解をさらに深め、チュチェ思想が立派に具現された朝鮮の現実に深い関心を持つ世界の進歩的人士とチュチェ思想研究者のために「朝鮮社会科学者協会通報」を発行する。

通報には国内外の各界層の人士と学者がチュチェ思想、先軍思想を科学的理論的に解説した論文、朝鮮の真の姿を紹介した記事、チュチェ思想に関するセミナー、チュチェ思想研究者の活動などを掲載する。

「朝鮮社会科学者協会通報」が自主と正義のためにたたかう人々に希望と信念、勇気を与える精神的糧、親しい道連れになるよう願うものである。

通　報

朝鮮社会科学者協会

第 1 号

目　　次

偉大な金日成主席と金正日総書記は
チュチェの太陽として永生している

キム・ソンイル

今年は、朝鮮人民の偉大な金日成主席の逝去20周忌、偉大な金正日総書記の逝去3周忌に当たる年である。朝鮮人民にとって主席と総書記が逝去した7月8日と12月17日は民族最大の追慕の日である。毎年この日になると朝鮮人民は老若男女を問わずに主席と総書記に対する懐かしさを抱いて国の各所にある領袖たちの銅像を訪ね、敬慕の挨拶を上げて永生を祈願している。

敬愛する金正恩同志は次のように述べている。

「偉大な金日成同志と金正日同志は永遠にわれわれとともにおられる」

偉大な金日成主席と金正日総書記は逝去したが、領袖たちはいつも朝鮮人民と世界の進歩的人類とともにおられ、チュチェの太陽として永生している。

偉人が永生するのは言葉やスローガンのためではなく、思想や業績が偉大であるからである。領袖の永生は尽きない生命力を持つ偉大な思想と偉大な業績の永生である。

世界には、社会の進歩と発展、人類の解放偉業に無くすことのできない痕跡を残し、人々の記憶のなかで長く追憶されている偉人が少なくない。ところが、朝鮮人民の傑出した領袖である偉大な金日成主席と金正日総書記のように歳月が流れれば流れるほど一層強烈になる懐かしさと敬慕の念の中、チュチェの太陽として永生する偉人たちはかつていなかった。

チュチェの太陽、これは不滅のチュチェ思想によって時代が進むべき前途を明らかにし、朝鮮革命と人類の自主偉業を勝利の一路へと導き、万代に輝く業績を築き上げた偉大な金日成主席と金正日総書記に対する永遠なる敬慕と称賛の代名詞である。

偉大な金日成主席が創始し、金正日総書記が深化、発展させたチュチェ思想は、人類の進歩的思想発展の頂点を成している。

チュチェ思想は、人間中心の世界観を確立することにより、人間が自己の運命の主人であるという自覚をもち、歴史と自己の運命を自主的に開拓しうる道を開いた。チュチェ思想は、人民大衆中心の革命理論と指導方法を確立することにより、人民大衆が科学的で、革命的な理論と戦略・戦術、方法に依拠して自主偉業をりっぱに完遂する道を明らかにしている。チュチェ思想によってその原理と原則、要求を具現した先軍思想、先軍革命理論が明示され、人民大衆の自主性を完全に実現するための革命の指導思想、指導指針が解明された。チュチェ思想、先軍思想の旗のもとに誇るべき勝利の道を歩んできた朝鮮革命の栄えある歴史とともに世界的範囲で自主化の気運が日増しに高まっている今日の現実は、領袖たちの革命思想の真理性と正しさ、その不敗の生命力に対する明白な実証となる。

自主的な革命思想の生命力は永遠である。領袖たちのチュチェ思想、先軍思想は、人民大衆の自主偉業、社会主義偉業の歴史の全時代を代表する百科全書的な革命思想であり、人類の未来を導く偉大な思想である。人民大衆の自主性に対する志向と要求を最も正しく反映し、その実現をめざす道を最も科学的に明示する金日成主席と金正日総書記の革命思想は、領袖たちの尊名とともに自主時代の指導思想、指導指針として永遠に輝くであろう。

偉大な金日成主席と金正日総書記は、チュチェ思想、先軍思想の旗のもとに革命闘争と建設事業を勝利へと導き、チュチェの社会主義偉業の遂行を確固と裏付ける不滅の業績を築き上げた永遠なるチュチェの太陽である。

人民大衆の自主偉業は、革命を切り開き成功裏に導いてきた先代の領袖たちが積み上げた業績に基づいて代をついで前進し、完成される。領袖たちは、長期にわたって朝鮮革命を切り開き勝利へと導く歴史的道程でいか

なる偉人にも比べることのできない業績を築き上げた。チュチェ型の革命的党である朝鮮労働党と真の人民の政権である共和国政権、無敵の人民軍を建設し、朝鮮人民を自主精神の強い信念と意志の強者、一心団結した革命的人民に育て上げ､革命の勝利を確固と裏付ける威力のある政治的保証をもたらした領袖たちの傑出した指導力は世界に知られたものである。

不世出の政治家であり、指導の巨匠である偉人たちから譲り受けた最大の愛国遺産は、朝鮮式社会主義である。偉大な金日成主席が打ち立て、金正日総書記が光輝かした朝鮮式社会主義は、人民を天のごとく押し立てる人民大衆中心の社会主義であり、主体性と民族性の強い自主的な社会主義であり、先軍の威力によっていかなる大敵をも打ち破り、あらゆる難関と試練を乗り越えていく不敗の社会主義である。新たなチュチェ 100 年代の進路で帝国主義反動勢力の圧殺策動がいつになく悪辣になっても朝鮮式社会主義はびくともせずに政治と軍事、経済と文化など、すべての分野において世紀的変革をもたらし、絶えず勝利に向かって前進していることは、世界で最も優れて威力のある社会主義を打ち立てた領袖たちの偉大な業績を実証している。

千里眼の英知を所有した偉大な金日成主席と金正日総書記が築き上げた業績の中の業績は、革命の将来を見通し、チュチェの革命偉業を世紀と世代をついで勝利のうちに継承、完成させていく確固たる保証をもたらしたところにある。革命偉業の継承において領袖の後継者問題を基本にとらえ、その解決に深い関心を向けた領袖たちの賢明な指導によって、今日朝鮮では革命指導の代がしっかりと受け継がれており、革命偉業継承の世界史的模範が創造されている。

偉大な金日成主席と金正日総書記が長期にわたって革命を導きながら積み上げた不滅の業績は、チュチェの革命偉業を遂行する上で万代の礎となっている。この偉大な革命業績があったがゆえに、チュチェの革命偉業、先軍革命偉業の永遠なる勝利的前進とともに領袖たちはいつもわれわれと共におられるであろう。

歴史は、傑出した偉人を領袖として奉じてはいたものの、指導の代がかわる時期に正しい指導者を推挙していないため、領袖の思想と業績が損なわれ、社会主義偉業が中途半端になった事実を記録している。ひとえに卓越した指導者を戴いてこそ領袖の思想と業績が代をついで固守されて光輝き、領袖の永生が現実的に保証されるということが歴史の総括である。

朝鮮で偉大な領袖たちがチュチェの太陽として永生するのはチュチェ偉業の偉大な継承者である敬愛する金正恩同志を朝鮮労働党と革命の最高首位に高く戴いたからである。先代の領袖に対する不変の忠誠心を身につけた金正恩同志は、領袖たちを永遠に高く戴き、その思想と業績をもっとも純潔に固守して輝かせ、領袖永生偉業を最高の水準で実現している。

敬愛する金正恩同志は､偉大な金日成主席と金正日総書記が生前の姿で安置されている錦繍山太陽宮殿をチュチェの最高聖地として整理し､全国の各地に領袖たちの銅像と永生塔を建立するようにした。金正恩同志は、朝鮮の軍隊と人民の心の中に「偉大な金日成主席と金正日総書記は永遠にわれわれとともにおられる！」という強い信念を抱かせ、偉大な金正日総書記を朝鮮労働党の永遠なる総書記、共和国の永遠なる国防委員会委員長として戴くようにし、金日成主席と金正日総書記の革命思想を金日成･金正日主義と定義づけ、その旗のもとに革命と建設のすべての活動を徹頭徹尾、領袖たちの思想と意図通りに、金日成式、金正日式に行うようにした。

金正恩同志の指導によって朝鮮労働党と国家、軍隊は、永遠に金日成同志、金正日同志の党と国家、軍隊に強化、発展され、朝鮮革命は領袖たちが切り開いた自主の道、先軍の道、社会主義の道を真っ直ぐに前進するようになり、朝鮮の地に金日成主席と金正日総書記の聖なる革命活動史が変わることなく流れるようになった。最近だけでも人工衛星「光明星3」号―2 号機の打ち上げと第 3 回地下核実験で成功することによって、朝鮮の強力な国力が力強く誇示され、馬息嶺スキー場と美林乗馬クラブ、紋繍遊泳場をはじめ、近代的な人民サービス施設と文化施設が建てられて人民の幸せな笑い声が響いていることは、領袖たちの強盛国家建設構想と念願が実現されて

いる社会主義朝鮮のすばらしい現実とともに偉大な金日成主席と金正日総書記がかわることなくわれわれとともにおられるという信念をいっそう強くしている。

先軍朝鮮の厳然たる現実を目撃しながら朝鮮人民はもちろん、世界の進歩的人類は、敬愛する金正恩同志が導いているがゆえに、領袖たちの思想と偉業は永遠であり、必ず勝利するということを鉄の真理として確信している。

朝鮮人民は、チュチェの太陽として生き続ける偉大な金日成主席と金正日総書記の祝福の中で、敬愛する金正恩同志を団結の中心、指導の中心として高く戴き、最後の勝利をめざして力強くたたかっていくことにより、この地に必ず富強・繁栄する社会主義強国を打ち立て、チュチェの社会主義偉業を立派に完成していくであろう。

先軍革命思想の始原

リ・ソンチョル

広闊とした大地を通り抜けて流れる大河をさかのぼれば、その流れの源泉、始原がある。そこから始まってさらさらと流れる小川は、だんだん大きく、激しくなってついには滔滔とした壮快な大河をなす。

同様に革命思想も無の状態から自然に生まれて一瞬に完成されるのではない。それは先代が積み上げた思想的・精神的財産に基づいて生まれるのである。

偉大な金日成主席が創始した先軍革命思想は、父親の金亨稷先生から譲り受けた 2 挺の拳銃と「トゥ・ドゥ」の綱領にその始原をおいている。

先軍革命思想はまず、金亨稷先生の革命遺産である 2 挺の拳銃にその始原をおいている。

主席は、父親の金亨稷先生から貴い革命遺産を譲りうけた。

普通、遺産と言えば、財産や金銭上の相続のことを指す。

しかし、主席が回顧録「世紀とともに」で述べているように、ひたすら国の独立のためにすべてを捧げた金亨稷先生は、家庭の暮らしに足しとなる財産は一つも残さなかった。今、万景台生家に展示されている農機具や家財道具もみな祖父の金輔鉉先生が譲り渡したものである。

金亨稷先生は、何かの物質的財産ではなく、思想的・精神的財産を主席に遺産として譲り渡した。

「志遠」の思想、三つの覚悟、同志獲得の思想、2 挺の拳銃―これが父親から譲り受けた遺産の全部であった。

この貴い革命遺産の中で 2 挺の拳銃は、主席をして銃剣の真価を誰よりも深く見抜き、銃剣によって朝鮮革命を切り開き、前進させる独創的な先軍革命思想を打ち出すようにした貴い革命遺産であった。

武装闘争によって国の独立を達成することは、金亨稷先生の総体的な志向であり、目標であった。

当時、国の独立をめざす民族主義者の反日運動は、多くの場合、事大主義的であり、無抵抗主義的な「請願」や「外交」、非暴力的なデモなどに限られていた。

しかし「請願」や「外交」、デモなどでは決して国の独立を成し遂げることができないということが、朝鮮人民の反日独立闘争史が残した血の教訓であった。

金亨稷先生は、「請願」や「外交」ではなく、武装活動をおこなってこそ国を取り戻すことができるという確信を抱き、新たな武装活動の準備を推し進めた。

先生は、生涯の終わりの時期に自分の志と果たせなかった祖国解放の偉業を、息子があくまで実現することを望む切なる心を込めて 2 挺の拳銃を譲り渡した。

主席は、この上ない喪失の痛みの中で、父親の遺産に励まされ行く先を探し始めた。

組織的な武装闘争を準備していた時期に、金日成主席は 2 挺の拳銃をかざして同志たちに次のように述べた。

「さあ、これが父がわたしに残した遺産だ。父は義兵でも独立軍でもなかったが、世を去るまでこの銃を持っていた。なぜか？武装闘争こそ国の独立を成就する最高の闘争形態だと認めていたからだ。父の総体的な志向は武装闘争だった。私はこの 2 挺の拳銃を譲りうけたとき、父に代わってわたしがその志を実現させずにはおかないと決心した。いまやそのときがきた。この 2 挺を元手にして独立行軍を開始しよう。いまはこの 2 挺がすべてだが、これが子を産み、孫を産んで 200 挺、2000 挺、2 万挺となる日を想像してみよう。2000 挺の銃があれば十分祖国を解放できる。元手があるのだから、これを利用して 2000 挺、2 万挺に増やそう！」

実に、2 挺の拳銃は武装闘争によってのみ、日本帝国主義を打ち破り、国の独立を成就することができるという偉大な思想が込められた革命遺産であり、これは主席が先軍の旗を

高く掲げ銃剣を優先させて革命を切り開いていく信念を固めるようにした貴重な滋養分となった。

主席は、金亨稷先生が残した 2 挺の拳銃から銃は革命家の必須不可分の同伴者であり、革命を行うためには必ず銃剣をとらえるべきだという革命の深奥な原理に目覚め、銃剣重視の革命思想、先軍革命思想を打ち出したのである。

先軍革命思想はまた、「トゥ・ドゥ」の綱領に始原をおいている。

朝鮮革命は 80 余年前に金日成主席が新しい世代の青年共産主義者の斬新な革命組織である打倒帝国主義同盟（略称「トゥ・ドゥ」）を結成することにより、その歴史の幕を上げた。

主席が「トゥ・ドゥ」を結成したことは、銃剣によって帝国主義を打倒し、民族解放、階級解放を実現する生死を分かつ闘争の宣布であり、地球上のすべての帝国主義との対決の宣言であった。

主席は、「トゥ・ドゥ」の結成式で行った「帝国主義を打倒しよう！」という報告で反日闘争の歴史的経験と教訓を全面的に分析し、日本帝国主義を打倒し、国の独立を成就するためには、一部の誤った民族主義運動者と当時共産主義運動を標榜していた人々の方法とはまったく異なる新しい闘争の道を進むべきである、上層部の数人によってではなく大衆運動で、朝鮮人民の力で、自主的に日本帝国主義を打ち破り、真の朝鮮の独立を達成すべきであると述べた。

主席は報告で日本帝国主義を打倒して朝鮮の解放と独立を達成するとともに、朝鮮に社会主義、共産主義を建設し、ひいてはすべての帝国主義を打倒して世界に共産主義を建設することを同盟の綱領として提示した。

主席が提示した「トゥ・ドゥ」の綱領は、先軍思想の根本精神である透徹した反帝自主精神が闡明された偉大な綱領であった。

しっかりした反帝自主精神は、先軍思想に貫かれている根本精神である。銃剣によって帝国主義を打ち破り、銃剣を優先させて人民大衆の自主性を実現する道を明らかにする革命思想であるというところに先軍思想の根本的特徴がある。

「トゥ・ドゥ」の綱領には、帝国主義に反対してあくまでたたかい、銃剣を振りかざしている強盗日本帝国主義はひとえに自力、無慈悲な革命的暴力によって懲罰すべきであるという主席の透徹した先軍革命思想が具現されている。

このように、先軍は革命の出発を告げる「トゥ・ドゥ」の綱領から始まった。

偉大な人間－金 正 恩

チェ・ヒョンホ

今日、先軍朝鮮の太陽と褒め称えられている敬愛する金正恩第１書記は、若い方である。

金正恩第１書記が党と国家の最高首位に推戴されてから２年余り経った。

短いこの期間に第１書記は、政治家として簡単には持つことのできない高い指導的権威と人民からの絶対的な支持、信頼を得ている。

金正恩第１書記の高い指導的権威と人民の絶対的な支持、信頼は、第１書記の高い政治実力、積み上げた業績によるものである。

金正恩第１書記の指導的権威はその政治実力と業績ばかりでなく、特異な人間的魅力によってより強固なものとなっている。

金正恩第１書記の人間的な魅力は、万有引力のように人々の心を引き寄せ、限りない魅惑と信頼を生んでいる。一回なりとも対面した人であればその特異な天稟に我知らず、引かれて親しみを感じ自然に慕うようになる方がほかならぬ金正恩第１書記である。

金正恩第１書記の人間的魅力のうち最も特徴的なのは愛情である。

祖国と人民に対する愛情、次世代に対する愛情、人類の明るい未来に対する愛情が第１書記の心にはいっぱいである。

西側の一部のメディアは、金正恩第１書記を、非常に厳しく慈悲を知らない軍事家タイプの国家指導者であるとも評している。

もちろん第１書記は厳しい方である。敵に対してはいささかの慈悲も知らない。

しかしそれは第１書記の愛情があまりにも強烈で熱いからではないか。愛情が熱いだけに憎悪も強くなるのである。

愛する人民にベルトを締めさせ、可愛い子供たちに寒さを感じさせ、人間として生存する権利を奪おうとする敵に対して果たして無慈悲でなくていられようか。

金正恩第１書記は人民が福に恵まれ、子供たちが笑いさざめく姿を見る時、天下無二の宝でも得たように喜び、その喜びのために革命を行うのだと常々述べている。かとすれば一部の幹部の誤りで人民にゆき渡るべき国家の配慮が少しでも軽減されれば誰よりも心を痛め、自らその重荷をになうのである。

倉田通りの超高層住宅を建設する真っ只中、人民の暮らす住宅はぜひ行って見なくちゃと、エレベータもなく、安全欄干もない危ない階段を上まで上がってみてから安心した話、落成式を控える馬息嶺スキー場を訪ねては、ケーブルカーの安全さを自ら確認するために吹雪の中、単身でケーブルカーに乗って高い山頂まで登った話、孤島の数人の軍人と家族のために自ら施工主となって都市に劣らない住宅と便益施設を建設するようにした話をはじめ、第 1 書記の人民愛、次代愛を伝える物語は数えられないほど多い。

人類が世紀をついで祈ってきた宗教的「愛」や人文主義の先行者たちが人間の良心に熱烈に呼びかけた博愛主義は、人間に実際の幸福を与えなかったまま理想として残っているが、敬愛する金正恩第１書記の愛は人間をして温かさと幸福感を肌で感じさせている。

敬愛する金正恩第１書記の人間的魅力において特徴的なのはまた、約束を大事にすることである。

約束はすなわち信頼であると言っている。それだけに約束は最大に慎重にし、一旦約束したことは必ず守らなければならないのが人間の道理である。

金正恩第１書記は人民との約束は何一つ破ったことがない。たとえそれがあどけない子供たちとの約束であっても慎重に対し、必ず守ってくれる。

工場あるいは家庭を訪ねてから、また来ると約束したことを必ず守り、軍人や子供と何かを約束したらすべてを尽くしてでも必ず解決してくれる。

馬息嶺スキー場や美林乗馬クラブ、綾羅人民遊園地や紋繡遊泳場、玉流児童病院や松涛園国際少年団野営所をはじめ、世人を驚嘆させる記念碑的建造物はみな敬愛する金正恩第１書記

が人民と約束したものである。
その約束を守るために一つの建設場に何回も足を運び、人民と約束したプロジェクトだからなんの遜色もないようにと、施工上の問題もいちいち教え、建設現場を訪ねては雨の中を自ら傘をさして形成案もスケッチしながら心血を注ぐ、そのような指導者を人民が天のごとく信じて従うのは当たり前のことである。
誰もが隔たりなく指導者に自らの願いをこめた手紙を送り、指導者が直筆の回答をし、その希望をいちいち気遣って解決してくれるこのような感動的な願いと約束の世界、愛と信頼の世界は、朝鮮以外のどこでも見出せないであろう。
一国の政治指導者として国民と華やかで聞き栄えのいい約束はたくさんしても実際の行動となればいつそんなことがあったかのように冷淡になる西側の政治世界とはあまりにも対照的であるといえる。
人民と隔たりなくなじむことを好むのも、また敬愛する金正恩第１書記の特異な人間的魅力である。
国家指導者は公式的に国家を代表する。
それゆえ、国家指導者は身なりと言動において一般の人とは差があるべきであり、国民に対する場合にも一定の距離を置くべきであるというのが普通の認識である。
しかし金正恩第１書記はいつも平凡な人間の姿で人民に対する、人民型の指導者である。
どこにいっても幹部より先に人民に会い、彼らと腕を組んで親しくお話しを交わし、記念写真を撮り、食事もともにする方がほかならぬ第１書記である。
新居のある労働者夫婦の家庭を訪ねては、お祝いの乾杯もし、東海の水産事業所に行っては倉庫にいっぱい積んである冷凍された魚を背景に記念写真を撮ろうと、コンクリートの底にためらいなくお座りになる第１書記の姿を見ながら、人民はみな自分たちとあまりにも隔たりのないその人民的品格に引かれてしまう。
小さい木船に乗って孤島の哨所を訪ね、軍人たちに肉親の愛を注いでから帰る金正恩第１書記を見送ろうと冬の冷たい海に飛び込む兵士たちが風邪でも引くと大変だと、引き返せとしょっちゅう手を振る第１書記の姿は、実に人民から絶対的な愛と尊敬を受ける人民の指導者のもっとも平凡かつ感動的な姿である。
実に敬愛する金正恩第１書記の人間的魅力、人間的香りは、人民をして第１書記をいつも思い、どこまででも従い、第１書記と一つになることを最大の願いと見なすようにする光であり熱である。
それによって今日、朝鮮の一心団結は何をもってしても破ることのできないもっとも強固で、永遠なものとなっている。

自主、先軍、社会主義の道を進むのは朝鮮革命の百年大計の戦略

キム・チャンギョン

今日、朝鮮の軍隊と人民は敬愛する金正恩同志の賢明な指導のもとに自主の旗を高く掲げ、先軍の威力によって社会主義強国建設のすべての部門で繁栄期を開くための闘争を力強く展開している。

敬愛する金正恩同志は次のように述べている。

「偉大な金日成同志と金正日同志が切り開いた自主の道、先軍の道、社会主義の道をまっすぐに進むところに、朝鮮革命百年の大計の戦略があり、最終的勝利があるのです」

朝鮮革命の歴史は、偉大な領袖、偉大な党の指導のもとに自主、先軍、社会主義の道をまっすぐに進んできた勝利の歴史である。

自主は国と民族の生命であり、自主独立国家の第一の表徴である。

解放後、国が北と南に分断され、大国の間にあることによって、その利害関係が複雑に絡んでいる中でも朝鮮人民は、つねにチュチェ思想を指導指針として革命と建設の各分野において自主性を確固と堅持してきた。

朝鮮人民は、朝鮮革命の利益を第一位において路線と政策を作成して実現し、革命と建設を国の実情と自分の要求、利益に即して朝鮮式に行ってきた。新しい祖国建設の日々や厳しい祖国解放戦争の日々、戦後復興建設、社会主義建設の日々に路線と政策の作成において一貫して自主の原則をしっかりと堅持してきた。重工業を優先的に発展させながら軽工業と農業を同時に発展させる社会主義経済建設の基本路線、人民政権を強化しながら思想、技術、文化の 3 大革命を力強く繰り広げる社会主義建設の総路線、一心団結と不敗の軍事力をさらに強固にし、新世紀の産業革命の炎を燃え上がらせて社会主義強盛国家を建設する路線をはじめ、すべての路線と政策はみな朝鮮人民の意思と要求、朝鮮の実情に即して決定されたものである。

朝鮮人民は、革命と建設において提起されるすべての問題を自分が責任を持って自力で解決してきた。党と領袖の賢明な指導のもとに朝鮮人民は、熱い愛国心と創造的積極性を発揮し、最悪の条件でも革命と建設を力強く推し進め、他国では数百年かかったという工業化も 14 年という短い期間に完成し、すべての分門で新たな奇跡を創造しながら社会主義勝利の一路を歩んできた。

先軍は、朝鮮革命の勝利的前進を裏付ける宝剣である。

日本帝国主義によって植民地奴隷の運命を強いられ、アメリカ帝国主義の侵略と戦争策動によって恒常的に脅威を受けている朝鮮革命は、強力な軍事力を作り上げることを第一義的な課題として提起した。

金日成主席と金正日総書記は、革命指導の全期間にわたって軍事を確固と優先させ、革命軍隊を中核としてあらゆる難関と試練を克服し、厳しい朝鮮革命を前進させてきた。

主席はチュチェ 21（1932）年 4 月 25 日、組織的な武装隊伍である朝鮮人民革命軍を創建し、それに依拠して祖国解放の歴史的偉業を達成し、その後、党も国家も創建した。解放後も軍事に優先的な関心を払い、革命武力を絶えず強化して、アメリカとその 15 の追随国の侵略者に反対する祖国解放戦争で勝利を収めてアメリカ帝国主義の下り坂への端緒を開き、戦後復興建設、社会主義建設で一貫して銃剣重視路線を堅持してきた。

チュチェ 49（1960）年 8 月 25 日、先軍革命指導を開始した金正日総書記は、独創的な先軍政治によって革命と建設を勝利へと前進させ、特に 1990 年代に帝国主義者の侵略と戦争策動を断固粉砕して一回の世界大戦に匹敵する祖国防衛戦で百勝を轟かし、政治思想、経済、文化、外交など、各分野で世人を驚嘆させる奇跡をもたらした。

先軍によってうち固められた力が強いがゆえに、アメリカはあえて戦争の引き金を引くことができず、朝鮮半島と北東アジアの平和は維持されているのである。いま、朝鮮は国際舞台で強権と専横をふるまうアメリカとその追随勢力があえて手出しできない軍事強国として、北東アジアと世界の平和、安定を維持する強力な砦となっている。

社会主義は、朝鮮人民の生命であり、生活である。

搾取と抑圧のない新しい社会で自主的で、創造的な生活を享受しようという朝鮮人民の長年の念願は、主席が国を取り戻し、真の人民の国である共和国を創建したことにより、立派に実現できた。

共和国は、かつて抑圧され、蔑まれていた各階層の人民を国家の主権活動に積極的に参加させて大小の国事を自分の意思と要求に即して討議、決定し、実行するようにしており、人民大衆をして国家主権と生産手段の主人としての役割を果たすようにしている。朝鮮では人民大衆の利益を擁護し、実現することが最高の原則となっており、無料義務教育制と無料治療制をはじめ、人民的施策が実施されている。幹部は「人民に奉仕する！」というスローガンを掲げて人民の真実な忠僕らしく生き、働いており、人民政権は人民大衆の自主的権利の代表者、創造的活動の組織者、人民生活に責任を持つ戸主、人民生活の頼もしい保護者としての使命を果たしている。

党と領袖の賢明な指導のもとに史上初めて人民大衆があらゆるものの主人となり、すべてが人民大衆に奉仕し、人民大衆の団結の力によって絶えず発展する、世界で最も優れた人民大衆中心の社会主義が建設され、今日は国力が強くあらゆるものが栄え、人民が何不自由なく暮らす社会主義強国建設を進めているのである。

自主、先軍、社会主義の道へと朝鮮革命を導いてきた偉大な金日成主席と金正日総書記の不滅の業績は、今日、敬愛する金正恩同志によってしっかりと擁護、固守され、さらに光を放っている。

敬愛する金正恩同志は、老練かつ洗練された指導により自主、先軍、社会主義の道へと朝鮮の軍隊と人民を導き、共和国の尊厳と威容を全世界に轟かしている。

朝鮮の軍隊と人民は、敬愛する金正恩同志に従って金日成主席と金正日総書記が開いた自主、先軍、社会主義の道に沿って朝鮮革命を成功裏に前進させ、国と民族の尊厳と威容をさらに輝かしていくであろう。

「金日成· 金正日主義と世界の自主化偉業」に関するチュチェ思想セミナー

チュチェ 103（2014）年 4 月 14 日、朝鮮民主主義人民共和国の首都平壌では「金日成·金正日主義と世界の自主化偉業」に関するチュチェ思想セミナーが成功裏に行われた。

セミナーにはアジア、アフリカ、ラテン・アメリカ、ヨーロッパから 20 カ国の代表団が参加した。

チュチェ思想国際研究所の尾上健一事務局長（日本）の開幕発言に次いで朝鮮社会科学者協会副委員長ジ· スンチョルの祝賀演説があった。

セミナーではチュチェ思想国際研究所の副理事長であるラテン・アメリカチュチェ思想研究所の委員長ラモン・ヒメネス・ロペス（メキシコ）が「金日成· 金正日主義と世界の自主化偉業」という題の報告をし、ラテン・アメリカチュチェ思想研究所の副委員長オマル・ロペス（ベネズエラ）、アフリカ地域チュチェ思想研究委員会理事長ヘンリ・マシコ（ウガンダ）、モンゴルの自主的発展をめざす白頭山協会のメンバーであるド．エンフバドラルト、日本金日成· 金正日主義研究全国連絡会の共同代表鎌倉孝雄、ロシアチュチェ思想研究協会の委員長コスチェンコ・ドミトリ・ゲンナジエビチ、アフリカ地域チュチェ思想研究委員会の書記長ロヘケレ・カルロンダ・アンドレ（民主コンゴ）、ベラルシ 2.16 名称チュチェ思想及び先軍政治研究協会の副委員長ザイツェバ・タチアナ・ワルレンチノブナが討論を、金日成· 金正日主義研究ナイジェリア全国委員会の委員長アル・ハサン・メンメン、チュチェ思想国際研究所の理事であるバングラデシュ自力更生研究会の委員長ガリブ・ネワズ、パキスタン自力更生研究協会の書記長ザベド・アンサリ、タイチュチェ思想研究組織の委員長ソンチト・プルラップ、ロシア極東地域金日成· 金正日主義研究協会の副委員長ゲンナジ・ペトロビチ・クリコブなどが書面討論をした。

セミナーでは朝鮮人民の最高指導者金正恩閣下に送る手紙が採択された。

全世界のチュチェ思想研究者たちの大きな期待と関心の中、平壌で成功裏に行われた「金日成· 金正日主義と世界の自主化偉業」に関するチュチェ思想セミナーは、金日成·金正日主義の旗の下に 21 世紀の人類の自主偉業を早めていく揺るぎない信念と意志を誇示する歴史的な契機となった。

「世界の自主と平和実現におけるヨーロッパの経験と役割」に関するヨーロッパ地域チュチェ思想セミナー

チュチェ 103（2014）年 5 月 3 日,イタリアの首都ローマでは「世界の自主と平和実現におけるヨーロッパの経験と役割」に関するヨーロッパ地域チュチェ思想セミナーが行われた。

セミナーではチュチェ思想国際研究所事務局長尾上健一（日本）とヨーロッパ地域チュチェ思想研究会理事長であるエドモン・ジュブ（フランス）、ヨーロッパ地域チュチェ思想研究会書記長カルボネリ（イタリア）、ヨーロッパ地域チュチェ思想研究会の理事たちをはじめ、50 余名が参加した。

セミナーではヨーロッパ地域チュチェ思想研究会の理事長エドモン・ジュブ（フランス）が「世界の自主と平和実現におけるヨーロッパの経験と役割」という題で報告をした。

続けてチュチェ思想国際研究所の事務局長尾上健一（日本）、イギリス先軍政治研究グループの代表、東ヨーロッパ及び中央アジア地域チュチェ思想および先軍政治研究協会の総秘書ミハイル・パンチェンコ、ブルガリア金日成· 金正日主義研究グループ委員長リュドミル・コスタヂノブ、ウクライナ先軍の宝剣チュチェ思想研究協会の委員長ニコライ・　ポリシュク、ヨーロッパ地域チュチェ思想研究会の副理事長キス・ベンネト（イギリス）、チュチェ思想研究フィンランド全国委員会の委員長ユハ・キエクシ、オーストリア金正日チュチェ思想研究青年グループ責任者トマス・レシュ、イタリアチュチェ思想研究委員会委員長アルド・ベルナルディニ、ヨーロッパ地域チュチェ思想研究会理事リン・シノジウム（フランス）、チュチェ思想研究所ルーマニア全国委員会委員長バシレ・オルレアヌが討論した。

セミナーでは朝鮮人民の最高指導者金正恩元帥に送る手紙が満場一致で採択された。

「世界の自主と平和実現におけるヨーロッパの経験と役割」に関するヨーロッパ地域チュチェ思想セミナーは､金日成· 金正日主義の旗の下にヨーロッパの自主と平和を実現していく信念と意志を誇示する意義深い契機であった。


偉大な年代の象徴ー
祖国解放戦争勝利記念館


鉄嶺のりんごの海ー高山果樹農場

人民の家－柳京歯科病院と
玉流児童病院

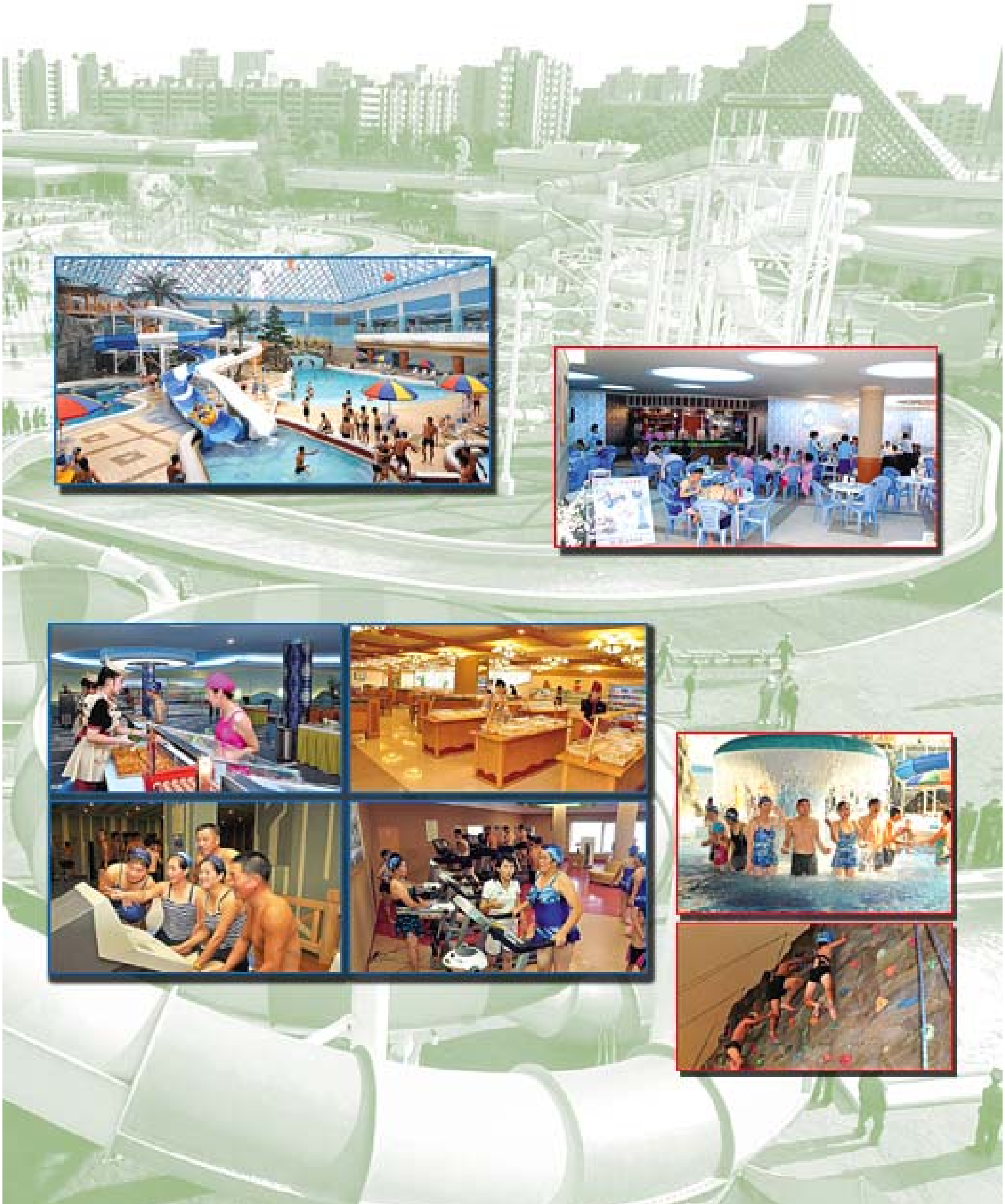




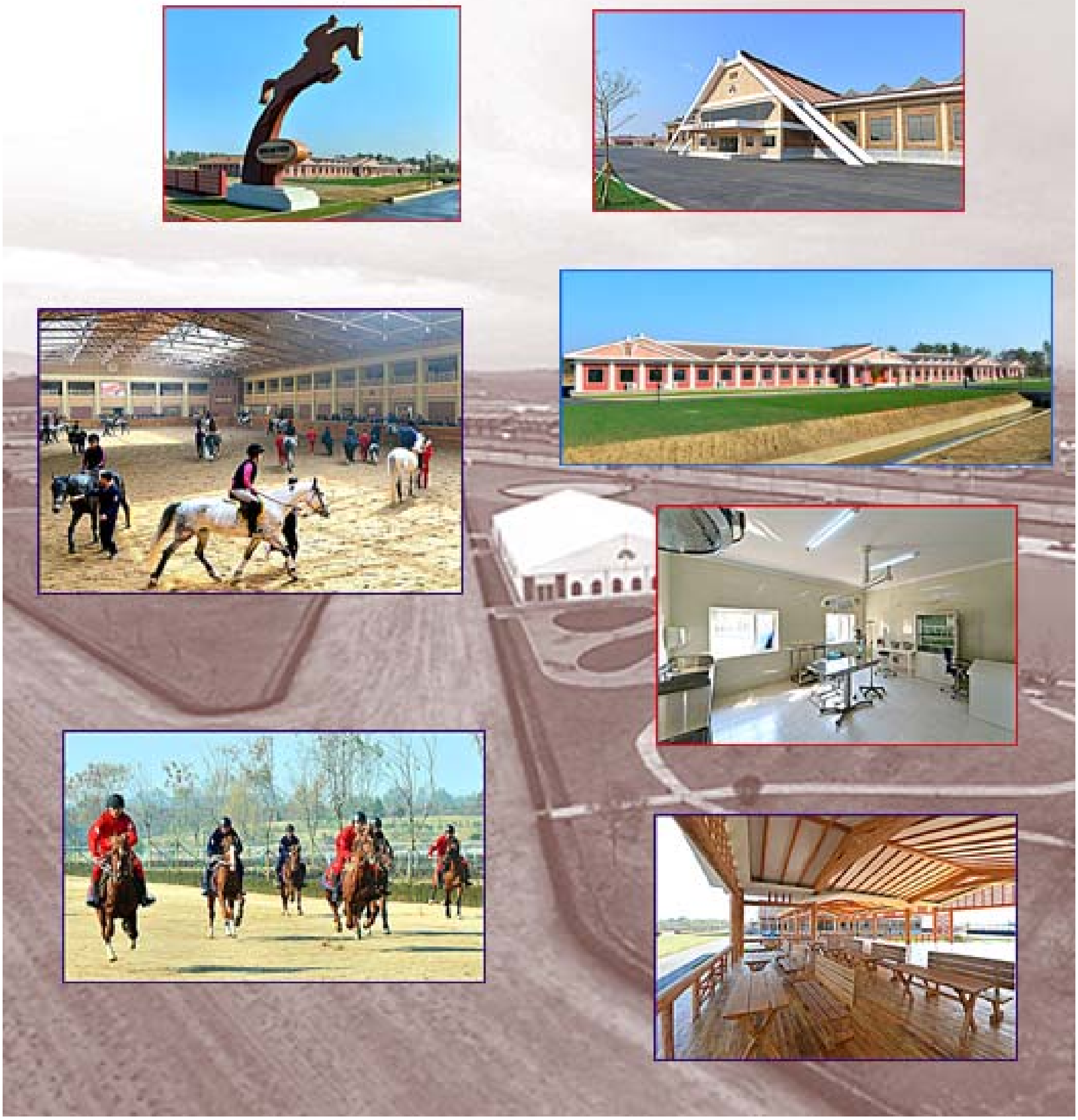

一つの新しい都市ー銀河科学者通り


愛の座布団ー金日成総合大学教育者住宅

笑いさざめく紋繍遊泳場



人民への愛の贈り物 ー
美林乗馬クラブ



文明と飛躍の象徴ー
馬息嶺スキー場





